

# I 横浜市の特別支援学校について

## 1 横浜市内の特別支援学校の概況

横浜市内には、県立7校、市立12校、国立1校、私立2校、計22校の特別支援学校があります。その中で、知的障害者を対象とする市立特別支援学校が4校あります。

＜参考：横浜市立の特別支援学校＞ ※太字が知的障害特別支援学校

対象障害種	学 校 名	特 色	所 在 地
知的障害	日野中央高等特別支援学校	■高等部のみの学校 ■知的障害が軽い生徒を対象 ■企業への就職100%をめざす	港南区日野中央 2-25-3
	二つ橋高等特別支援学校		瀬谷区二ツ橋町 4 7 0
	港南台ひの特別支援学校	■小・中学部、高等部で構成 ■中・重度障害の児童生徒が中心 ■企業への就職はほとんどない	港南区港南台 5-3-2
	本郷特別支援学校		栄区小菅ヶ谷 3-37-12
肢体不自由	上菅田特別支援学校	■小・中学部、高等部で構成 ■肢体不自由のみの障害や重複障害の児童生徒を対象 ■企業への就職はほとんどいない	保土ヶ谷区上菅田町 462
	中村特別支援学校	■小・中学部で構成 ■各校に上菅田特別支援学校高等部の分教室あり	南区中村町 4-269-1
	北綱島特別支援学校	■大部分の児童生徒に重度重複障害がある ■企業への就職はいない	港北区綱島西 5-14-54
	新治特別支援学校		緑区新治町 7 6 8
東俣野特別支援学校		戸塚区東俣野町 1103-1	
視覚障害	盲特別支援学校	■幼稚部、小・中学部、高等部（本科、専攻科）で構成 ■卒業生の半数程度が就職	神奈川区松見町 1-26
聴覚障害	ろう特別支援学校	■幼稚部、小・中学部、高等部（普通科、生産流通科）で構成 ■卒業生の半数程度が就職	保土ヶ谷区常盤台 81-1
病 弱	浦舟特別支援学校	■小・中学部で構成 ■児童生徒は市内4カ所の病院に入院しながら授業を受ける（院内学級）	南区浦舟町 3-46 浦舟複合施設 11階

これら4校のうち日野中央高等特別支援学校と二つ橋高等特別支援学校は、比較的知的障害が軽い生徒の高等部のみの学校となっており、一般企業への就労をめざす職業教育を進めています。実際2校の就職率は高く、例年8～9割の生徒が一般企業に就職しています。

また、港南台ひの特別支援学校と本郷特別支援学校は、中～重度の知的障害のある児童生徒が多く、一般企業へ就職する生徒は極めて少数であるというのが現状です。

横浜市教育委員会では現在、これらの4校を対象とした「就労支援事業」を進めており、障害者雇用の専門家（就業コンサルタント）による企業の開拓や、啓発活動等を行っています。

この冊子では、主に一般企業への就業率が高い2校の高等特別支援学校の事例を取り上げていますが、一方で、数は少ないながらも、本郷特別支援学校、港南台ひの特別支援学校を卒業し、社会の中で自立を果たしている方たちの事例も紹介しています。

## 2 高等特別支援学校の職場実習について

2校の高等特別支援学校の生徒は、在校時に様々な企業での体験実習・試験実習を経験し、就職をしていきます。

学校では、企業における実習を、生徒が多くの人と出会い社会的自立心を高めていくための重要な教育カリキュラムとして位置づけています。

そのため、実習の受入が可能な企業を、幅広く求めています。

[参考：高等特別支援学校の年間実習期間予定]

月	1年生	2年生		3年生	
	二つ橋	日野中央	二つ橋	日野中央	二つ橋
4					
5			体験実習 期間：1週間	体験実習 期間：4週間	体験実習 期間：4週間
6					
7					
8					
9					
10	体験実習 期間：1週間	体験実習 (グループ実習) 期間：1週間	体験実習 期間：2週間	試験実習 期間：3週間	試験実習 期間：4週間
11					
12					
1		体験実習 期間：1週間		追実習 (必要に応じて)	
2					
3					

### 【お問い合わせ・連絡先】

- 具体的な実習受入等に関する相談・調整／実習全般に関する質問等  
横浜市立日野中央高等特別支援学校  
電話 045(844)3015 FAX 045(846)8448  
横浜市立二つ橋高等特別支援学校  
電話 045(391)2131 FAX 045(391)2193
- 障害者雇用全般に関するご相談／就業コンサルタント・当冊子に関するご質問等  
横浜市教育委員会事務局特別支援教育課（担当：山口）  
電話 045(671)3958 FAX 045(663)1831